

平成28年度第1回秋田県立保呂羽山少年自然の家運営協議会 要旨

- 1 日 時 平成28年5月16日(月)午後3時～午後4時30分まで
- 2 場 所 秋田県立保呂羽山少年自然の家 研修室
- 3 出席者 委員(五十音順)
佐々木委員(会長)、赤石委員、木村委員、高橋委員、永沢委員
長谷山委員(副会長)、守屋委員
事務局
生涯学習課
森川社会教育主事
保呂羽山少年自然の家
鈴木所長、高田副主幹(兼)班長、高橋主査、菊地技能主任、
沢村主任社会教育主事(兼)班長、北嶋社会教育主事、
廣瀬社会教育主事、高橋研修員、非常勤職員阿部・佐藤、
臨時職員佐々木・山本・佐藤
- 4 議事概要
 - (1) 開会
 - (2) 委任状交付
 - (3) 保呂羽山少年自然の家所長あいさつ
 - (4) 生涯学習課あいさつ(森川社会教育主事)
 - (5) 委員紹介及び職員紹介
 - (6) 自然の家運営説明
 - (7) 役員選出(会長・副会長)
 - (8) 会長あいさつ
 - (9) 説明
 - ①平成28年度自然の家の運営について 所長より説明
 - ②重点推進事項・平成28年度主催事業について 指導班長より説明
 - ③利用者90万人突破セレモニー・施設整備事業について 総務班長より説明
 - ①・②・③及びその他について一括で協議・質疑応答
 - (10) 閉会
- 5 委員からの主な意見
 - ・色々な機関等と連携がとれており、課題やニーズに基づきながら、改善し利用拡大していることが伝わった。
 - ・アンケートから中学生の自己肯定感が低いようだが、事業や活動の中で、自分のいいところを見つけられるように気をつけている場面や機会などは設定しているか。

- ・自然の家の存在意義が高まっていると感じる。より充実させていってほしい。
- ・施設の修繕・改修は、優先順位により確実に進めてほしい。また、トイレの洋式化も必要と考えている。キャンプ場のトイレも洋式にしてほしい。
- ・子どもたち向けの活動プログラムは非常に高いレベルである。大人向けの講座、この環境を生かした山菜採り、ウォーキング、登山など計画して元気な高齢者を集める手立てをしてみてはどうか。
- ・少子化が進み、子どもを対象としていくことにも限界があるので、幅広い年代層を対象にすることがキーワードとなると考える。
- ・親子で参加する事業のほかに、お父さんたちを対象にしたキャンプや野外炊飯などを企画してもらいたい。
- ・大人の方々への新規事業PRについては、データ等をいただければ横手市生涯学習課で所管する公民館にもPR可能である。
- ・利用状況に実績値については、目標を設定して取り組んでいるものか。
- ・民間の新人研修の場としての利用などPRしてみてはどうか。
- ・星座観察など他の分野で活動する団体が主催する事業にタイアップし、付加価値を付けた事業を展開することもできるのではないか。